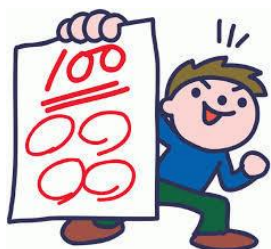


中間考査が終わった今！



1年次生は、高校入学後はじめての定期考査でした。中学校よりテスト範囲が広く、知識量も多くなり、一夜漬けで好成績をとろうと思っても、難しかったのではありませんか。今回『失敗したな』と思った人は、次回からの定期考査は、腰を据えて勉強に取り組み、しっかりと準備をして臨んでください。

2年次生のみなさん、定期考査に最善を尽くし、気分よく修学旅行を迎えることができそうですか？ 科目数も増え、1年次までとは比べ物にならないくらい専門的な知識が必要になってきましたね。得意科目・不得意科目もはっきりしてきたのでは？ 不得意科目はそのままにせず、見直しやり直しをしっかりとやって、**苦手意識を早めに克服**していきましょう。

3年次生は、進路希望の実現のためにも、範囲の限られた定期考査は高得点が望まれます。定期考査を疎かにしては、入試でいい結果がでるとは思えません。今回の定期考査に対する心構えの違いが、そのまま大学受験に対する心構えに通じて行きます。『**基礎を馬鹿にする者は、基礎に泣く**』のです。

テストの意義のひとつは、『**その目標に向け必死に勉強すること**』。そしてテストが終了した今、『**テストの問題を自分のもの**にすること』です。定期考査は、先生たちが『**今はこれだけの力はつけて欲しい**』という思いで精選した良問ばかりです。自分の弱点をテストで発見し、克服していくことで初めて実力の定着が図れます。開放感に浸るのはまだ早い。『**この範囲は自分のものにしたぞ！**』という満足感に浸ることができるように頑張りましょう。

イチロー名言集

『今自分にできること。頑張ればできそうなこと。そういうことを積み重ねて行かないと、遠くの大きな目標は近づいてこない。』



6月の進路に関する行事

○3年次大学入試ガイダンス

6月12日(火) 放課後「南山、中京、愛知淑徳、愛知工業、
椋山女学園大学」等の、入試説明会を各教室に分かれて実施

当日は、筆記用具を持参して、ポイントメモするなど、有意義な時間としましょう。

○2年次進路講演会

6月19日(火) 第7時限 体育館、講師;ベネッセより 演題;進路実現のために

○1年次進路適性検査の結果説明会

6月21日(木) 第7時限 体育館、講師;リクルートより 演題;進路適性検査の活用法

○外部模擬試験

6月1日(金)放課後～2日(土) 進研マーク模試

6月30日(土) 3年次進研記述模試、1・2年次進研総合学力テスト

○1・2年次実力養成期間

6月20日(水)～29日(金)

進研模試に向け過去問を解いて、学力の養成と伸長を目指そう。『**備えあれば憂いなし**』です。



2・3年次の土曜補習もあるよ。

< 3 年次 進路講演会の感想 >

5月15日（火）第7時限に、3年次の進路講演会がありました。

今年度は、河合塾から西川先生を講師として招き、『進路実現のために』という演題で話していただきました。感想を抜粋して紹介します。

- もっと自分の進路について考え、家族とも話していかなければいけないと思いました。また、行きたいところを一つに絞るのではなく、もっとたくさん調べていきたいです。
今まで以上に気を引き締めて、勉強を頑張っに行こうと改めて感じることができました。
- 目指す大学に合格するために、苦手科目の克服に向けて、目標を決め、毎日継続することを決めたいと思いました。
- どこの大学を志望するかは関係なく、挑戦しなければ可能性が0%になるため、今は、できることをコツコツ頑張りたいと思いました。
模試の最大限の活用の仕方を教わり、判定を見て一喜一憂するだけでなく、今後は「復習ノート」を作って、失点個所を確認してやり直しをしていこうと思いました。
- 改めて大学受験の厳しさを知りました。センターでは基礎的な問題が多く、1点1点がとても大切であること、また、自己採点の正確さも大切であることを知りました。模試を通して、自己採点と実際の得点差を0に近づけるように確実にして、意味のあるものにしていきたいです。
- 普段あまり聞くことができない「受験に失敗してしまった原因」を知り、浪人危険度アンケートでは「学習生活見直し」判定が出たので、早いうちに改善していきたいと思いました。
自分の苦手な所を理解するために、模試や考査の復習にもっと力を入れていきたいと思いました。自分の目標に向けて最後まであきらめずに頑張り、大谷選手のように自分の目標を明確にして、ビッグな人間になりたいと思いました。
- 現時点での目標をはっきりさせ、模試の見直しをきちんとして、基礎基本をしっかりと固めることが大切だと改めて感じました。
模試も自己採点まできちんとして、本番でいつも通り試験が受けられるようにすることも大事だと思いました。
- 自分の不足している所を自己分析し改善していき、次につなげられるような勉強をするべきだと解りました。すぐに結果に出ないこともあるかもしれないけれど、諦めずに粘り強く努力していけるように頑張りたいと思いました。
- 国公立大学の入試制度や、センター試験の内容、平均点など知ることができた。模擬試験を上手く利用するためには、自己採点、復習、成績答案チェック、苦手分野の再チェックを行い、本番入試に備えることが大切だと分かった。真の受験勉強になるように目標・時間の設定をして頑張りたい。
- 国公立大学と私立大学の入試制度の仕組みや違いがわかり、どのような勉強法が受験勉強なのかよくわかりました。模試を受けた後の効果的な勉強がわかったので、これから実践し、目標をしっかりと持って、自己分析をしようと思います。

本校向けのプリント資料を作成していただき、スライドを中心として講演を行っていただきました。入試の仕組みから模擬試験の意義その活用法について、具体的にわかりやすく話していただき、大変参考になったことと思います。